

平成30年度当初予算の主な新規・拡充事業

(単位:千円)

	事業費	概 要
1. 未来を拓く人がはぐくまれています		
★ (3) 妊婦健康診査費	80,000	14回の健診を行っていますが、妊婦の血糖検査について、糖尿病や妊娠糖尿病の早期発見のため、これまでの妊娠中期に加え、初回検査においても実施します。
☆ (4) 子育て世代包括支援センター事業費	17,429	助産師・保健師を中心として、妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援を行います。支援が必要な妊産婦を対象に個別支援プランを作成するほか、産後ケアの実施や既存の育児支援事業の拡充を行います。
★ (5) 児童扶養手当給付費	722,819	児童扶養手当の所得要件改正により、全部支給の所得限度額が引き上げられます。全部支給の受給者の増加に対応した給付を行うことでひとり親家庭への経済的支援を拡充します。※30年8月分(12月支給)からの実施予定。
★ (8) 幼稚園及び認定こども園分 ★ (9)	1,072	国の幼児教育無償化の段階的な取組みを踏まえ、1号認定こどもの一部世帯について、国の基準額に応じた負担額の減額を行います。また、幼稚園就園奨励費の補助限度額も同程度の拡充を行います。※事業費は今回の減額による支出増の額
★ (11) 学童保育所管理運営費	115,263	待機児童が増えていることから、吉野校区における第2学童クラブの開設、白川学童保育所における定員の80名への増、上内校区における吉野学童保育所までの送迎事業の新たな実施を行い、待機児童の減少を図ります。
☆ (16) 文化芸術を通じたコミュニケーション能力アップ事業費	2,100	演劇手法を活用した講演会やワークショップを行うことで、コミュニケーション能力の向上や想像力の醸成を図ります。
★ (17) おおむた・みらい・ESD推進事業費	2,400	各学校におけるESDの充実とともに、市民・企業向け講座を開催することで「ユネスコスクール・ESDのまち おおむた」を市全体での取組みとなるよう進めていきます。
★ (19) 英語教育ステップアップ事業費	1,800	英語検定受験に対する助成を行うとともに、イングリッシュサマースクールなどを開催します。また、英語を更に学びたいと思う児童生徒への学習機会の提供を充実させ、英語に対する興味関心や学ぶ意欲の向上を目指します。
☆ (21) 小中学生伝統文化体験等事業費	70	内田麟太郎読書感想文コンクール・子ども用詩集の作成・子どもカルタ大会・伝統文化体験等事業を行うことで、児童生徒の郷土を愛する心と誇りを育み、文化芸術を通して持続可能なまちづくりへの参画意識を高めます。
★ (23) 学力ブラッシュアップ推進事業費	1,800	小・中学校で夏休み期間中や放課後などに行っている「強化学習」や「補充学習」をさらに拡充し、児童生徒一人一人の学力の実態により応じたきめ細かな学習指導の充実を目指します。

平成30年度当初予算の主な新規・拡充事業

(単位:千円)

	事業費	概要
★ (28) スクールソーシャルワーカー活用事業費	8,175	2名体制を継続するとともに、複雑化・深刻化する事案等への対応を図るため、大学等の高度な専門機関と連携し、様々な他地域の事例等の調査研究を行い、児童生徒・保護者等への対応の充実を図ります。
☆ (30) 社会教育・生涯学習基礎調査研究費	900	本市の社会教育・生涯学習を一層推進することを目的に、ESDの理念を取り入れながら、市民との協働に寄与する事業の構築を目指した調査研究を行います。
★ (37) 世界遺産関連施設等保存活用費	30,000	29年度策定の「三池炭鉱跡の保存・公開・活用に関する計画」に基づき、宮原坑や鉄道敷跡の測量、発掘調査など世界遺産としての価値を高めるための施策を進めていきます。
☆ (39) 多文化共生推進費	223	外国との文化の違いを理解し、国籍にとらわれずに互いに認め合うことを学童期から身に付けてもらうことを目的に、小・中学校の授業の一環として、青年海外協力隊などの海外での生活・活動経験がある方の実体験に基づいた講話を実施します。
2. 地域の宝が活かされ、にぎわいのあるまちになっています		
☆ (7) 動物園整備事業費	119,743	来園者の利便性や園の魅力向上のため、駐車場拡充や園内のトイレ新設とともに、絵本ギャラリーの整備に向けた基本設計を行います。
★ (9) 中心市街地にぎわい創出事業費	4,000	中心市街地の活性化を図るため、新規出店者向けの勉強会や空き店舗見学会などを行い、空き店舗所有者と新規出店希望者とのマッチングを進めます。また、商店街等と連携したイベント等を数多く開催し、中心市街地の賑わいの創出を図ります。
★ (10) まちづくり基金事業費	35,422	中心市街地における店舗新築に対する助成を新設します。また、立地適正化計画で設定した生活利便型都市機能誘導区域において、既存店舗改修事業の補助率と上限額の引き上げを行い、地域商業の活性化を図ります。
★ (11) 中小企業新規創業促進費	4,000	新規創業を促進するため、融資利率の引き下げ、借入上限額の引き上げや保証料負担の軽減など金融支援を拡充します。
☆ (23) おおむた100若者未来応援基金費	60	将来のまちづくりを担う人材の育成を図り、市内における就業及び人材確保並びに本市への移住・定住の促進を目的に、市内事業所に就職し市内に居住する若者に対して奨学金の返済を支援します。
★ (24) おおむたの魅力発信事業費	17,679	シティプロモーション戦略に基づき、本市が有する様々な魅力を市内外へ効果的に情報発信するとともに、大牟田市公式キャラクター「ジャー坊」を活用したプロモーションに取り組みます。

平成30年度当初予算の主な新規・拡充事業

(単位:千円)

	事業費	概 要
★ (25) 移住定住促進費	5,600	移住コンシェルジュが移住相談等に対応するとともに、おおむね移住定住サポート会議においてお試し居住などを行い移住定住の促進に取り組みます。また、新たに学生による情報発信サイトを立上げ、地域の魅力発信に取り組みます。
3. 支えあい、健やかに暮らせています		
★ (2) 地域力強化推進事業費	24,000	地域包括支援センターへ「地域よろず相談員」を配置し、高齢者・障害者・生活困窮者などに関する複合的な課題を住民・関係機関と一緒に解決していくことで、地域が主体的に地域課題の解決に取り組む体制の構築を目指します。
(6) 健康への新たな一歩応援事業費	3,000	健康づくりに無関心な人達や関心はあっても実践できていない人が、健康づくり活動へ一歩踏み出せるように、ICT等を活用した「ウォーキング推奨事業」や、生活習慣病発症予測システムを活用した保健指導等により意識の向上と行動を促す「みらいの健康リスク診断」事業を行います。
☆ うちウォーキング等健康づくり活動促進事業費	(2,334)	
☆ うちみらいの健康リスク診断事業費	(666)	
★ (9) 在宅医療・介護連携推進事業費 (介護保険会計)	11,400	28年度に策定した「大牟田市地域医療・介護連携ビジョン」に基づき、在宅医療の充実、および医療と介護を一体的に提供できる体制づくり、また関係機関の協働による医療・介護の連携体制構築に向けた取り組みを進めます。
5. 安心して安全に暮らせています		
★ (5) 防災意識啓発事業費	1,628	災害に対する備えや知識を身につけるために26年3月に発行した「防災ガイドブック」をリニューアルし、全世帯に配布します。
☆ (6) 防災行政無線整備費	2,400	全国瞬時警報システム(Jアラート)による情報伝達に要する処理時間の短縮や特別警報等の情報の充実のため新型受信機を導入します。
○計画の推進		
★ わくわくシティ基金費	55,626	条例で定める基金の額に積立するものです。